

安全データシート

改定日:2022年9月5日

1. 製品及び会社情報	
化学品の名称	硫酸銀
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	IB0208
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性):区分1 水生環境有害性 長期(慢性):区分1
ラベル要素	
絵表示又はシンボル	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	水生生物に非常に強い毒性 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
注意書き	【安全対策】 環境への放出を避けること。 【応急措置】 漏出物は回収すること。 【保管】 容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。 【廃棄】 内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	硫酸銀
別名	硫酸銀(I)
化学式	Ag ₂ SO ₄
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN:10294-26-5
含有量	99%以上
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(1)-10 / 公表
その他	HSコード:2843.29
4. 応急措置	
吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。 皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 直ちに医師に連絡すること。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	

技術的対策(局所排気、全体換気等)	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 粉塵を吸入してはならない。 皮膚および眼との接触を避ける。 長時間または反復の暴露を避ける。 局所排気を必要とする。 取扱後に十分に洗浄する。 環境への放出を避けること。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管する。
安全な保管条件	ガラス
容器包装材料	
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	0.01mg/m ³ (Agとして)
ACGIH	未設定
設備対策	貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
目の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
衛生対策:	取扱い後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	結晶または結晶性粉末。
色	無色もしくは白色
臭い	該当情報なし。
融点/凝固点	652°C
沸点又は初留点及び沸点範囲	1,085°C分解。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	1,085°C
pH	該当情報なし。
動粘性率(粘度)	該当情報なし。
溶解度	水: 0.796g/100ml (20°C) 硫酸または温硫酸に可溶。
n-オクタノール/水分分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
蒸発速度	該当情報なし。
相対ガス密度(空気 = 1)	該当情報なし。
比重	5.45
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常取り扱い条件においては安定。 光によって徐々に分解して着色する。
危険有害反応可能性	強酸化剤との接触不可。
避けるべき条件	光。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	硫黄酸化物。
11. 有害性情報	
急性毒性	経口: データなし 経皮: データなし 吸入: データなし (粉塵)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	硫酸塩類として皮膚刺激性が疑われるが、データはない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	硫酸塩類として眼刺激性が疑われるが、データはない。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器: データなし 皮膚: データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	本物質のデータはなく、IRIS(1989)は銀として区分外相当のDに分類しているが、硫酸塩類の発がん性評価は見つからず、データ不足のため分類できない。
生殖毒性	PATY(5th, 2001)では銀化合物には生殖毒性がないとの記述があるが、硫酸塩類の生殖毒性の有無についてはデータがなく、本物質のデータも見つからないため、分類できない。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	硫酸塩類として気道刺激性が疑われるが、データなし。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	銀化合物の長期ばく露により主に皮膚に銀沈着症を起こすとの記述があるが(PATY, 5th, 2001; ACGIH-TLV, 2005)、ヒトの健康への重大な影響を示唆するものではないと考えた。また、本物質のデータはなく、データ不足のため分類できないとした。
誤えん有害性	データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性

短期: 甲殻類(ネコゼミジンコ属)の48時間EC₅₀=4.5 μg/L (AQUIRE, 2003)から、区分1とした。
 長期: 急性毒性が区分1、金属化合物であり水中での挙動および生物蓄積性が(慢性)不明であるため、区分1とした。

残留性・分解性

生体蓄積性

土壌中の移動性

オゾン層への有害性

該当情報なし。

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

汚染容器及び包装

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
 空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。
 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国連番号

品名(国連輸送名)

国連分類

容器等級

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

3077

環境有害性物質(固体), n.o.s

9

Ⅲ

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
 重量物を上積みしない。
 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送

海上輸送

航空輸送

応急措置指針番号

消防法の規定に従う。

船舶安全法の規定に従う。

航空法の規定に従う。

171

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)

毒物及び劇物取締法

消防法

労働安全衛生法

大気汚染防止法

船舶安全法

航空法

指定化学物質に該当しない。

劇物

危険物に該当しない。

名称等を表示し、又は通知すべき有害物 [施行令別表9]に該当しない。

有害大気汚染物質

有害性物質

その他の有害物

16. その他の情報

参考文献

NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)
 16615の化学商品(化学工業日報社)
 化学品安全管理データブック(化学工業日報社)
 職場のあんぜんサイト(厚労省HP)

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。